

要予約 無料法律相談
8月20日(水)10時~11時半
●担当/山口第一法律事務所
田中 礼司 弁護士
9月25日(木)14時半~16時
●担当/山口第一法律事務所
横山 詩士 弁護士
●場所
生協ふれあい会館2階「相談室」
☎0836-34-2510



医療生協健文会現勢 2025年6月30日現在
●組合員 18,742人
●出資金額 596,111,000円
●平均出資金額 31,806円
●支部数 23支部
●登録班数 156班
住所変更等ありましたら、まちづくり組合員活動支援部までご連絡ください

〒755-0005 宇部市五十日山町16-23
TEL 0836-33-6644 FAX 0836-33-6651
<https://www.kenbunkai-yamaguchi.jp>

定款地域(活動する地域) ... 山口県全域

- 第5号議案
 - 第4号議案
 - 第3号議案
 - 第2号議案
 - 第1号議案
- 議案決議効力発生の件
役員報酬決定の件
2024年度決算報告承認の件
ならびに剰余金処分案承認の件
2025年度収支予算
事業計画決定の件
2024年度の重点課題と
おこなうのが良いとされている。有酸素運動をしないことで体力が落ちるので、継続して習慣化して楽しむことが大切である。次に「貯筋」のすすめということで、筋力のアップと維持することが重要であり、ストレッチなども有効である。また、(特に)高齢者はカルシウム不足とビタミンDの低下で骨が弱くなるということ。カルシウム不足は副甲状腺を活性化させ、骨をもろくする。カルシウムの吸収にはビタミンDが欠かせないので、そのためには日光を浴びることが必要となると話されました。

2025年6月22日(日)、宇部市「ココランド山口宇部(ファミーユ)」にて、「医療生協健文会第38回通常総代会」が開催されました。総代総数190名のうち、総代本人出席96名、代理人出席16名、書面議決書71名、合計183名の総代出席がありました。約50人の職員オブザーバー出席もあり、理事・監事、要員参加の職員あわせて久しぶりの熱気に包まれました。第1号議案～第5号議案まで、すべての議案が可決されました。また、第1号議案～第3号議案に対する発言通告は全体で16本+（文書発言1本）あり、活発な討論がおこなわれました。

2025年6月22日(日)、宇部市「ココランド山口宇部(ファミーユ)」にて、「医療生協健文会第38回通常総代会」が開催されました。総代総数190名のうち、総代本人出席96名、代理人出席16名、書面議決書71名、合計183名の総代出席がありました。約50人の職員オブザーバー出席もあり、理事・監事、要員参加の職員あわせて久しぶりの熱気に包まれました。第1号議案～第5号議案まで、すべての議案が可決されました。また、第1号議案～第3号議案に対する発言通告は全体で16本+（文書発言1本）あり、活発な討論がおこなわれました。

上野理事長のあいさつ(一部)

最低限必要な運動は、「有酸素運動」です。有酸素運動とは、軽度から中程度の負荷をかけながら、長時間継続しておこなう運動のことで、心肺機能の維持・向上などに効果があり、週3回以上・20分～30分程度はおこなうのが良いとされている。有酸素運動をしないことで体力が落ちるので、継続して習慣化して楽しむことが大切である。次に「貯筋」のすすめということで、筋力のアップと維持することが重要であり、ストレッチなども有効である。また、(特に)高齢者はカルシウム不足とビタミンDの低下で骨が弱くなるということ。カルシウム不足は副甲状腺を活性化させ、骨をもろくする。カルシウムの吸収にはビタミンDが欠かせないので、そのためには日光を浴びることが必要となると話されました。



サブスローガン

- ① 医療福祉生協の理念をみんなで確認し、中長期計画に反映しよう。
- ② 私たちがとりくむすべての活動をひろげ、「事業と運動」の前進につなげよう！
- ③ 人口減少、少子化、高齢化、社会的格差をふまえて、安心してくらせる明るいまちづくりを展望しよう。
- ④ 地域の医療・介護・福祉の拠点となれるよう、地域に貢献し、災害に強いまちづくりをすすめよう。
- ⑤ 世界の平和と持続可能な社会をめざして、憲法と人権を学び、多様な人々との連帯と協同をすすめよう。



通常総代会

メインスローガン

- すべての活動を「事業」とどらえて事業継続と組合員活動を大きく前進させよう！
健文会と協同組合の価値を大きくひろげよう！

おもしろ食品・栄養学コーナー

教えて松富先生！

山口大学名誉教授 農学博士 松富 直利



シリーズ7 「おいしさの科学」

NHK朝ドラが「おむすび」から「あんぱん」へバトンタッチし、どちらも食に縁があり楽しみです。厚労省は健康づくりの要素として、栄養バランスの良い食事、適度な運動、社会とのかかわり(あるいは睡眠)をあげています。なかでも、食事は認知症やフレイルの予防に重要です。

私たちのからだは食べた物からつくられます。それゆえ栄養バランスの良い食事を摂ることが大切ですが、栄養素がバランスよく十分にふくまれているからといつて、おいしく喜んで食べられるとは限りません。おいしいことも必要です。このおいしさの中心となるのは味覚です。

食べ物のおいしさの判断には、味以外に香り、色、口腔内の歯さわりなども大いに寄与します。これを「味の相乗現象」といいます。

味覚は舌の表面の味細胞をとおして伝えられる感覚で、甘味、酸味、塩味、苦味、うま味の5つの基本味に分けられます。これらの基本味が複雑に絡み合い、おいしさを作り出します。

基本味成分を同時に摂取した場合に、単なる相加ではなく特殊な味覚現象を現すことがあります。例えばぜんざいを作る際に、少量の塩を加えると甘さが増します。ま

おいしさと五感の関係

味覚 (甘、酸、塩、苦、うま味など)
嗅覚 (匂い、香気など)
視覚 (色、形、つやなど)
触覚 (歯ざわり、のどごしなど)
聴覚 (かむ音など)

味の相互作用について

味覚は舌の表面の味細胞をとおして伝えられる感覚で、甘味、酸味、塩味、苦味、うま味の5つの基本味に分けられます。これらの基本味が複雑に絡み合い、おいしさを作り出します。

基本味成分を同時に摂取した場合に、単なる相加ではなく特殊な味覚現象を現すことがあります。例

味以外に香り、色、口腔内の歯さわりなども大いに寄与します。おいしい食事を摂って、健康と長寿をめざしましょう。

2024年度の活動まとめ

1 健康づくり・まちづくり

世代や組合員の枠を超えた多様な参加で、豊かな医療福祉生協をつくりました。

① 安心のネットワークをひろげました

- 「地域で安心して住み続けたい」と願う個人や団体、多くの人たちと継続できる楽しい活動でつながりをひろげました。
- 地域に「たまり場」の確保をすすめ、班会やサロン活動を積極的に開催し、地域住民と組合員の参加を促進しました。
- 「ゆるやかなつながり」を大切にし、「顔の見える・声をかけられる範囲」を基礎にした支部づくりをすすめ、楽しく元気の活動で地域に「担い手」を大いに増やしました。



② まちづくり（助け合いの輪）

- 一人ひとりを大切にする、人権や多様性を大事にした活動をすすめました。
- 地域福祉戦略部（地域福祉室「メロス」）を中心に、経済的困窮者や生活相談の輪をひろげました。
- 有償助け合いネット「ここって」の活動を積極的に推進しました。
- 地域での訪問活動を重視しました。
- 「無料・低額診療制度」をひろく周知し、地域のいのちと健康を守る活動をすすめました。
- 宇部地域と山陽小野田地域での「食材支援＆何でも相談会」の活動を継続・発展させました。
- 健文会山口市事務所は2年目を迎え、他団体との連携を重視し、「山口塾」「くらしと医療の何でも相談活動」「まちかど保健室＆カフェ」などを発展継続させました。

③ 地域まるごと健康づくり

- 健康チャレンジでは、さらに企画を充実させ、自治体、学校関係、他企業・他団体とも連携しました。

2 事業・経営・全国4課題のとりくみ

地域の医療・介護提供体制の変化に対応し、健文会の役割を再確認しながら、地域住民の健康を守る事業の継続を追求しました。2020年度以来、実に4年ぶりに仲間ふやし・出資金ふやしの2課題で純増となりました。

① 求められる役割を果たす事業

- 2024年度の「トリプル改定」に対応し、今後の医療・介護・福祉の動向を見据えたとりくみをすすめました。

② 足腰の強い経営づくり

- 「中長期経営計画」を確認し経営改善に向けた道筋を策定しました。
- 健文会における介護事業所の経営改善について、法的な議論と検討をすすめました。

③ 事業の質の向上と医療福祉生協らしい事業所づくり

- 開設から30年が経過した生協上宇部クリニックの今後の展開について検討しました。
- 「医療福祉生協の組合員参加のあり方提言」が出され、健文会としての「あり方」の検討を始めました。

全国4課題実績と目標

全国4課題	2024年度実績	2025年度目標
仲間ふやし	新規 696人 純増 26人	2万人組合員の実現 1,300人
出資金ふやし	増資 4,569万円 純増 558万円	8,000万円
増資実人数	1,288人	1,900人
班づくり・班会開催	新班：20班 累計：190班 2,519回	新班：46班 (23支部×2班以上) 班会開催 2,500回
	新規 20人 累計 158人	運営委員新規 46人 (23支部×2名)
担い手づくり	新規 99人 累計 919人 手配り配布率 43%	手配りさん 1,000人到達 (新規) 90人以上 全体手配り配布率 50%以上

3 ともに学ぶ・ひとづくり

「医療福祉生協のいのちの章典」に基づいた事業と運動の実践に確信を持つとともに一人ひとりの「健康観」を尊重する人づくりをすすめました。

① ともに学び育ち合う

- 「いのちの章典実践交流集会」「平和フェスタ2024」「社保平和学校」などへの参加を通じて、ともに学んだ経験を生かした具体的な活動の実践をすすめました。
- 50周年のとりくみとして記念誌発行(1,000部)、記念講演会(190名)をおこないました。



4 平和で公正な社会づくり

いのちを脅かす気候危機を防ぎ、平和で持続可能な世界を展望し、一人ひとりを大切にする社会をめざして行動しました。

① 日本国憲法を守り平和な社会をめざす

- 日本国憲法を支部や班、事業所・職場で継続的に学習しました。諸団体・個人とも連携・連帯して、いのちとくらしを守る活動に積極的に参画しました。
- ロシアによるウクライナ戦争、イスラエルとハマスによる武力衝突について、即時停戦と人道支援を求めました。

② 持続可能な世界をめざす

- 気候危機問題やエネルギー問題などSDGsの視点から考え行動しました。健文会でも必要に応じて、再生可能エネルギーの活用など、積極的な導入をすすめました。
- 原発再稼働の動きを許さず、また、上関町の中間貯蔵施設建設に反対し行動しました。

2025年度の健文会活動方針～重点課題と事業計画

1 健康になれるまちづくり

「組合員参加がもたらす価値」をみんなで共有し、世代を超えた多様なつながりをつくります。

① ゆるやかなつながりと社会参加を大切にし、くらしの安心ネットワークを地域にひろげます。

- 「保健学校」や各種の「サポートー養成講座」を積極的に開催します。
- 誰もが健康で居心地のよいまちづくりをすすめます。(助け合いの輪)
- 支え合い・助け合いのとりくみを大きくひろげます。

2 持続可能な経営づくり（全国4課題のとりくみ）

2つの危機：「組合員参加の危機」「経営・事業継続の危機」への対応をすすめよう。あたらしい施設建設も展望し、地域の健康づくりに貢献します。

① ともに組合員の立場（地域組合員・職員）で事業と運動を支えます。

- 将来必要となる資金を計画的に確保しながら、中長期計画を策定します。

② 経営改善をすすめながら健全な事業所運営を実現します。

- 「患者・利用者を断らない」を大切にし、患者・利用者確保に努めます。

③ 事業間連携・多職種連携でスケールメリットを最大限生かします。

- 「医科・歯科・介護」の連携で、地域の安心を支えます。

3 ともに学ぶ・ひとづくり

地域組合員と職員組合員がともに学び合い、育ち合うひとづくりをすすめます。

① ともに学び育ち合う。「協同の輪」をひろげます。

- 「みんなで学ぶ生協法」「みんなで学ぶ医療福祉生協」「みんなで学ぶいのちの章典」の3つの文献の学習をすすめます。

② 職員教育と研修の強化、人材確保と人材育成にとりくみます。

- 医療福祉生協で働く「公正」「正直」「誠実」な職員育成にとりくみます。

4 平和で公正な社会づくり

① 多様性が尊重され、誰もが安心してくらせる持続可能な平和で公正な社会をめざします。

- 「国際協同組合年」を位置付け、宣伝・周知・連携を図ります。



国際協同組合年
協同組合はよりよい世界を築きます

医療生活協同組合健文会は、2025国際協同組合年(IYC2025)に賛同しています

Cooperatives Build a Better World. 2025 International Year of Cooperatives

2024年度の決算・2025年度の収支予算について

2024年度の決算

経常利益は、8,119万円の黒字となり、安定した経営状況で年度を終えました。

	2024年度実績	予算差額(予算比)	昨年差額(昨年比)
事業収益	34億1,525万円	▲7,418万円 (97.9%)	+1億1,522万円 (103.5%)
事業費用	33億7,234万円	▲2,511万円 (99.3%)	+9,178万円 (102.8%)
事業利益	4,291万円	▲4,907万円 (46.7%)	+2,343万円 (220.3%)
事業外損益	3,828万円	+1,607万円 (172.4%)	▲1,437万円 (72.7%)
経常利益	8,119万円 (事業収益比2.4%)	▲3,300万円 (71.1%)	+907万円 (112.6%)

監査報告

決算関係書類（剰余金処分計算案のぞく）などすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

監事 石川 丈夫
監事 岡村 正文
監事 田中 克典

剰余金処分

2024年度の未処分利益 451,580,287円
法定準備金 6,369,073円
次期繰越利益 445,211,214円

2025年度の収支予算

2025年度は必要利益1億650万円を確保するために予算管理をすすめます。

2025年度の予算の柱

- ① 中長期経営計画にそった必要利益の確保をすすめます。
- ② 医療福祉生協の事業所に求められるサービス提供および組合員利用率向上をすすめます。
- ③ 患者・利用者増に向けたとりくみを強化します。
- ④ 「断らない」医療・介護を実践します。無料低額診療制度を地域にひろげます。
- ⑤ 協立在宅介護総合センターの具体的展開、生協上宇部クリニックのリニューアルについて、実施時期・規模など検討をすすめます。

	2025年度予算	前年実績比
事業収益	34億4,548万円	100.9%
事業費用	33億6,312万円	99.7%
事業利益	8,236万円	191.9%
経常利益	1億650万円 (事業収益比3.1%)	131.2%

当日総代会会場で3つのカンパ運動を行いました。ご協力ありがとうございました。

中四国ブロック組合員活動交流集会 53,435円
山口県母親大会 2,813円
9条の碑を下関に 13,553円

2025

国際協同組合年 (IYC2025)

シリーズ4 学ぶ 実践する 発信する

協同組合はよりよい未来をつくります

協同組合らしさを示す『協同組合のアイデンティティに関する ICA 声明』。今回は「価値」の前編です。

価値 協同組合は、自助、自己責任、民主主義、平等、公正、そして連帯の価値を基礎とする。それぞれの創設者の伝統を受け継ぎ、協同組合の組合員は、正直、公開、社会的責任、そして他人への配慮という倫理的価値を信条とする。

「協同組合」は、人類の歴史・哲学史・宗教史など賢人が追求した「人間として生きる価値観」の影響を受けて確立してきました。**① 自助**：人間は「人格を持った個人」として自分の運命を自分で切り開くよう努力できるし努力すべきである。しかし自助には限界がある。協同組合は目的を達成する協同（集団）の行動により更なる人間としての成長を目指す。**② 自己責任**：組合員には自らの協同組合が持続できるように活力を与える責任がある。周りに協同組合を普及し、他の組織から自立した存在に育成する責任をもつ。**③ 民主主義**：組合員が協同組合を運営する基本原理は民主主義である。**④ 組合員の権利**である、参加する権利・情報を得る権利・意見を聞いてもらう権利・意思決定関与する権利において、すべての組合員が平等に扱われなければならない。**⑤ 公正**：協同組合の中で組合員がどう扱われるかという課題。組合員の協同組合の利用に対する報酬（出資金積み立て、料金引き下げなど）の面で公正に扱われる。**⑥ 連帯**：協同組合が自己利益のみを追求するものではないことを示す価値。協同組合は組合員の集団的利益の確保に責任を持つ。地域や全国、国際レベルでの協同組合との協同、など。

第7回

宇部大空襲を知るつどい ～ちひろ友の会～

7月5日、「第7回宇部大空襲を知るつどい」を宇部市福祉ふれあいセンターでおこないました。2021年7月に第1回を開き、宇部市としての空襲碑を建てるとりくみを開始、2年後の2023年7月に実現させました。

今回は、80年前の宇部市に会いに来ませんかと題し、当時米軍が撮影した焼け野原のカラー動画を上映、また91歳の男性に、「私が受けた学校教育」を語ってもらいました。

7月2日におこなわれた市主催の献花式では、150名の参加がありました。路上に手作り資料をひろげ、参加者にビラを渡しました。そのときお話しできた方でしょう。「宇部市に住んで、市の職員として働いているのに何も知らないということで、知りたいと思いました。NHKの特集のよ

うに深く感動的だった。参加してよかったです」と感想をいただきました。

（代表：岡本 正和）



国際協同組合年
協同組合はよりよい世界をめざします

医療生活協同組合健文会は、2025国際協同組合年(IYC2025)に賛同しています

Cooperatives Build a Better World. 2025 International Year of Cooperatives

憲法
25条(生存権)
9条(平和主義)
13条(幸福追求権)
が活ける社会の実現をめざします。

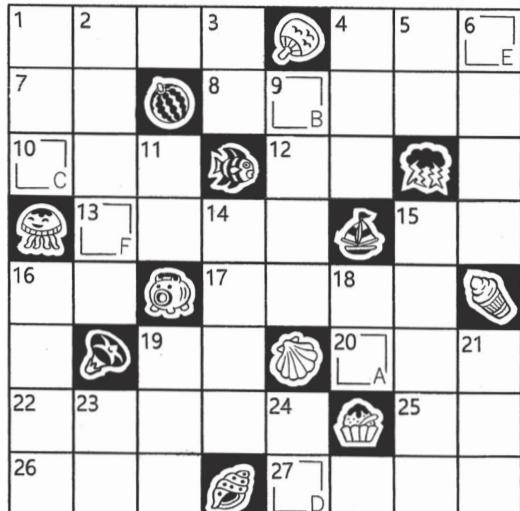
【ヨコのカギ】

- 8月の唯一の祝日
- 血液に毒がある魚類
- あせ。……顔。発……
- ねぶた・仙台七夕・祇園祭・阿波踊りなど
- 湿度が高い。高温……
- 月は昇るし、日は沈む
- ろくろ首も河童も
- 刀剣を……に収める
- ……すれば鈍す
- 雲呑と書く中国料理
- ……台下暗し
- 羽生善治九段の若い頃のトレードマーク
- 周りが敵ばかりという四字熟語
- カトレアは……科植物
- みうらじゅんは……家
- さし絵。説明図

【タテのカギ】

- 川遊びなどに使う屋根つきの……船
- 中高層の集合住宅
- 「ひよこ」のことです
- おいしい味
- チリの1月の季節は?
- 首都はアテネ
- 多量の酒を飲むこと
- 手紙を数える単位
- 川に住むイタチ科の獣
- 紫外線を防ぐ眼鏡
- 8月6日は……の平和記念式典
- 手品の……を明かす
- 南太平洋の小さな王国
- 都を他の地に移すこと
- うどんやそばのこと
- 武田信玄の領国一つ

クロスワード「クイズル」



【問題】二重ワクの文字を、A～Fの順に並べてできる言葉は、なに？

●6月号の答え 天気予報

6月号当選者（応募33通、正解33通）

宇部市 末広町 小林紳祐さん
藤本純子さん
山陽小野田市津布田 古賀剛さん
山陽小野田市山野井 下関市長府野久留米町 岡村和子さん
下関市 唐戸町 植屋幸子さん
宇部市 西岐波 前田典子さん
山口市 小郡上郷 畠山静枝さん
山口市 黒川 松富昭子さん

おめでとうございます！

応募方法

答え、住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、身近な出来事、ご意見ご感想など、ひととこと下さい。ご意見ご感想は、掲載させていただくことがあります。ご了承下さい。

- 当選者に薄謝 8名様分
- 締切：2025年8月末日 ●発表：2025年10月号にて
- あて先：〒755-0005 宇部市五十日山町15の7の1 健文会「ひろばクイズ係」まで

FAX：0836-34-2512
メール：sosiki_kenbun@yahoo.co.jp

【防府市国分寺町 中田広雄さん・50歳】
今年はさきの大戦から80年の節目の年となります。いまの日本は世界で一番平和な国になつたと言つていいと思ふります。当時命を懸けて戦つてくださった方々の覚悟と信念の上にいまの和があることに感謝します。当社はよろしくお願いします。

【宇部市浜田 辻畠史郎さん・65歳】
6月1日、快晴で布団干しと草刈りをしました。すつきりしました。クロスワード応募します。当たりますように！

防府市華城中央
各務美八子さん・78歳

組合員の声

【山口市吉敷佐畑 藤原多美子さん・79歳】
樹齢百年近い白梅は、幹も朽ちて洞も空いているのに3.5kgもの実がなりました。

【宇部市草江 米本久子さん・78歳】
4月に長野の企業に就職した孫娘。約一ヶ月の研修を終え5月の連休にて帰省し初給与でうな重をごちそうしてくれた。今まで誕生日、入学式、成人式というお祝いをしてきたけれど、孫がごちそうしてくれる日がくるなんて…何年ぶりかのうなぎに舌鼓を打ちながら幸せなひと時でした。

この8月は終戦・被爆80年。皆さんの戦争体験をまとめる作業をすすめています。自然災害も多いなかですが、声を掛け合つて暑い夏を元気で乗り越えましょう。（編）

こちらのQRコードを読み取ると公式LINE（毎週月曜日に配信予定）のページへいくことができます。



映画上映会のお知らせ 「医師 中村哲の仕事・働くということ」

宇部市

9月13日(土) ①10:30 ②14:00 30分前受付／開場

【席数】800名 【会場】宇部市渡辺翁記念会館

【参加費】一般1,000円 学生・障がい者500円
高校生以下無料

上映(47分)後、企画者による
アフタートーク有り(無料)



山口市

10月4日(土) ①14:00 山口県セミナーパーク講堂

10月5日(日) ①10:30 ②14:00

山口健康づくりセンター多目的室



申込はQRコードからお願いします。

問合せ：0836-37-0637 (受付時間：平日 10:00～17:00) 主催：労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団（宇部事業所）共催：山口県民主医療機関連合会、医療生活協同組合健文会

宇部市平和と戦争を考える
三坂神社奉納写真と高校生の原爆絵

8月15日(金)16日(土) 10時～16時 宇部市役所2期庁舎市民交流スペース

山口市徳地の通称“弾除け神社”（三坂神社）に奉納されたまま、お身内の方にお返しできていない宇部市の出征兵士の方々の写真を展示します。一枚でも多くの奉納写真の返還に協力できればと思います。

また、被爆者と高校生が協力して描き上げた原爆の絵の展示もおこないます。

主催：新日本婦人の会宇部支部、「宇部市平和と戦争を考える展」実行委員会



「お米2合カンパ運動」へのご協力をお願いします！

宇部・小野田の食材支援で使用します。毎月70kg目標です。

組合員のみなさんへお願い

氏名、住所、連絡先変更などは必ずお知らせください。

「戦争にまつわる体験談」
を募集しています

2025年は節目の戦後80年です。戦争の悲惨さを記録し、次世代に受け継いでいくため、戦争にまつわる体験談など（空襲体験、学童疎開、被爆体験、親や祖父母から聞いた話など）を募集します。

診療体制表はこちらの
QRコードを読み込んで
ください。



※夏季休診の情報もこちら

—— 上記はすべてまちづくり組合員活動支援部にご連絡ください ☎ 0836-34-2510 ——